

国 空 乗 第 2247 号
平成 13 年 3 月 30 日

計器飛行証明の实地試験に使用する航空機について

計器飛行証明の实地試験に使用する航空機は、航空機の種類にかかわらず計器飛行方式による飛行が可能な機体とする。

ただし、回転翼航空機及び飛行船にあつては、平成 14 年 3 月 31 日までの間に行われる实地試験については、この通達の規定にかかわらず、なお従前のとおりとする。

附則

空乗第 2019 号（平成 11 年 3 月 5 日付）は、平成 13 年決済日をもって廃止する。